

「子ども霞が関見学デー」盛況のうちに終わる

「子ども霞が関見学デー」は、親子のふれあいを深めて子どもたちが広く社会を知る体験活動の機会とするために、農林水産省をはじめとする24府省庁が連携しながら、各職場の見学やそれぞれの特色を生かした様々なプログラムを設けて、平成12年度から行われています。



小枝のキーホルダー作り



マイはし作りでカンナがけ



「みどりの大使」ミニライブ



©2012 Peanuts Worldwide LLC

特別ゲストのスヌーピー

今年度は、8月8日～9日に開催さ

れ、農林水産省には親子連れを中心に約3千名が参加しました。このうち、林野庁のコーナー「子ども霞が関木工教室」には、2日間併せて延べ1千名を超える子どもたちが参加して盛況のうちに終わりました。

林野庁のコーナーでは、サクラやケヤキなどの小枝を使ったキーホルダー作りやヒノキを使ったマイはし作りの

ほか、農林水産省から「みどりの大使」に任命されているミュージカル「葉っぱのフレディ」の子役たちによるミニライブなどが行われました。

木工教室に参加した子どもたちは、輪切りにした小枝に好きな絵を描き、金具をつけて世界に一つしかないキーホルダーを作ったり、ヒノキの木片を慣れない手つきでカンナで削って自分だけの箸を作りました。

また、ミニライブでは、「みどりの大使」が、森林の大切さや木を使うことの重要性を、会場に集まった多くの来場者にアピールしました。

さらに、ミニライブ後には、フォレスト・サポーターズに仲間入りしているスヌーピーが特別ゲストとして訪れ、フォレスト・サポーターズに入ってくれた多くの子どもたちと記念写真を撮影しました。